



**都道府県、政令市、中核市ごとのランキング公開**  
**大阪府議会、堺市議会、大津市議会がトップ 関西の議会が上位**  
「議会改革度調査 2018」ランキング 早稲田大学マニフェスト研究所調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月6日、2018年度「議会改革度調査」ランキングのうち、都道府県、政令市、中核市のランキングを公開しました。また、都道府県内の自治体ランキング TOP10 も同時に公開しています。 ※下記 URL をご参照

調査結果から、それぞれ大阪府議会、堺市議会、大津市議会がトップとなり、各ランキングでも関西の自治体議会が上位を占めました。

なお、市区町村別は、6/11以降に公開いたします。



▽以下の URL からご覧ください

都道府県別ランキング : [http://www.maniken.jp/gikai/2018rank\\_pref.pdf](http://www.maniken.jp/gikai/2018rank_pref.pdf)

政令市別ランキング : [http://www.maniken.jp/gikai/2018rank\\_seirei.pdf](http://www.maniken.jp/gikai/2018rank_seirei.pdf)

中核市別ランキング : [http://www.maniken.jp/gikai/2018rank\\_chuukaku.pdf](http://www.maniken.jp/gikai/2018rank_chuukaku.pdf)

※都道府県内の自治体ランキング TOP10 : [http://www.maniken.jp/gikai/2018rank\\_pref10.pdf](http://www.maniken.jp/gikai/2018rank_pref10.pdf)

▼各ランキング TOP10 ※カッコ内は前年比/総合順位

□都道府県 (47 団体)	前年比/総合順位	□政令市 (20 市)	前年比/総合順位	□中核市 (54 市)	前年比/総合順位
1 位 大阪府議会	(0/17 位)	1 位 堺市議会	(0/9 位)	1 位 大津市議会	(0/2 位)
2 位 兵庫県議会	(0/28 位)	2 位 京都市会	(0/63 位)	2 位 那覇市議会	(+2/20 位)
3 位 鳥取県議会	(0/42 位)	3 位 相模原市議会	(+6/81 位)	3 位 大分市議会	(+2/45 位)
4 位 三重県議議会	(0/46 位)	4 位 大阪市会	(-1/113 位)	4 位 横須賀市議会	(-1/52 位)
5 位 京都府議会	(0/89 位)	5 位 新潟市議会	(0/121 位)	5 位 呉市議会	(+1/56 位)
6 位 埼玉県議会	(+6/150 位)	6 位 神戸市会	(-2/133 位)	6 位 八尾市議会	(-4/62 位)
7 位 徳島県議会	(-1/158 位)	7 位 名古屋市会	(-1/143 位)	7 位 松山市議会	(+3/101 位)
8 位 広島県議会	(+8/169 位)	8 位 静岡市議会	(+2/199 位)	8 位 下関市議会	(-1/128 位)
9 位 鹿児島県議会	(+8/190 位)	9 位 広島市議会	(+4/248 位)	9 位 長野市議会	(0/140 位)
10 位 岩手県議会	(-1/201 位)	10 位 北九州市議会	(+1/260 位)	10 位 明石市議会	(+16/162 位)

※川口市議会のみ回答なし

■自治体区分別の特徴

▽都道府県：大阪府議会が3年連続トップ、埼玉、広島、鹿児島がTOP10入り

大阪府議会が3年連続トップ。分野別では「情報共有」が1位、「住民参加」「機能強化」は3位となった。上位5位までが3年連続で同じ顔ぶれの方で、埼玉、広島、鹿児島がTOP10入りを果たした。

上位5位は、いずれも総合100位以内に入る西日本の府県議会が占め、6位以下とは総合ランキングでの開きも目立つ。また、総合300位以内に入る18府県議会で見ても、近畿地方7府県のうち5府県がランクインするなど、拡がりが見えるブロックがある一方、まだ全国的には点在している状況である。

また、政務活動費の不祥事で注目を集めた富山県議会は、昨年10位に上昇したが11位にランクダウン。2017年の都議選で都民ファーストが躍進し改革への期待は高まる東京都議会は、政務活動費の領収書などのネット公開を進めたが33位と、1つ順位を上げただけで留まった。

≫次ページで政令指定都市、中核市の特徴などをご紹介します

◇ 今後、「議会改革度調査 2018」の新たな情報は下記早大マニ研 HP で公開します。 ページ 1/6

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 長内、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku

≫前ページから続く (ページ 2/2)

### ▽政令指定都市：堺市議会が4年連続トップ。大阪市会が急上昇

堺市議会が4年連続トップ。議会機能の強化及び活性化を図る「議会力向上会議」で議会改革を継続的に推進。堺市議会業務継続計画も策定している。

3位には新たに相模原市議会が6つ順位を上げてランクイン。政令指定都市と都道府県議会のそれぞれのランクインを見比べると、京都・大阪のように同一市内にあって府・市ともに上位にランクする議会もある一方、県・市でギャップがある新潟県・市議会や、県・市ともに下位にランクインする岡山県・市議会などもあった。

### ▽中核市：大津市議会が4年連続トップ、2位に那覇市がランクイン

マニフェスト大賞を複数回受賞している大津市議会が今年もトップ。大学との連携による外部知見導入による政策立案機能の強化と議会版実行計画「大津市議会ミッションロードマップ」によるPDCAサイクルを確立している。

那覇市は2位にランクインし、総合順位でも20位と健闘。53ある中核市の議会のうち、総合順位で300位以内に入る議会は20議会となっている。ランキングを16上げTOP10入りした明石市議会は、「住民参加」での4位が順位を上げた。その一方、長崎市、富山市は「情報公開」で3位、4位と上位につけたものの、「住民参加」「機能強化」での課題が見えた。

### ▼議会改革度調査2018について

【調査概要】 2019年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し、1,447議会が回答。(回答率81%)。2010年度から今回で9回目の調査となる。

#### 【調査目的】

- (1) 全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるか、確認する指標として活用する。
- (2) 議会自身が改革度を数値で把握することで自己評価や改善をし善い政治を競う「善政競争」を促す。

【調査の観点】 議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度合を数値化し、ランキング化した。

- (1) 情報共有 (本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証)
- (2) 住民参加 (傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取)
- (3) 議会機能強化 (議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況)

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2018gaiyo.pdf>

### ≪取材のお願い≫ 8月1日-2日@東京ビッグサイト 「全国地方議会サミット2019 チーム議会の醸成と成熟(仮)」

1,000人の議員・事務局が一堂に会し、

「地方議会から日本を変える」ための場面転換を。

【登壇】北川正恭顧問、江藤俊昭教授、廣瀬克哉教授、  
片山善博元総務大臣、その他学識者、先進議会等

【日時】8月1日(木) 13:00~17:00

2日(金) 09:30~16:00

【場所】東京ビッグサイト 7階 国際会議場

【対象】議会議員、議会事務局職員、一般 総計1,000名

【主催】ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会 【共催】早稲田大学マニフェスト研究所

≫詳細はこちら <http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>



◇ 今後、「議会改革度調査2018」の新たな情報は下記早大マニ研HPで公開します。 ページ2/2

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 長内、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>